

吉川小学校の希少野生生物の再生事業（2018年度）

吉川地区の水田環境

3年前に鯖江市環境課との関わりでコウノトリの観察をしている折に、吉川地区で通年の水田や冬水田んぼがあると、シギ・チドリの渡りの時期に餌場となり飛来数が増えるのではないかということになりました。話を進めるうち、休耕田に水を張ってビオトープを造り、コウノトリやハクチョウ類もやって来るような希少種の渡りの餌場・休息場を作ろうということまで発展しました。さらに鯖江市長より巣塔設置の提案を頂き、福井県自然環境課のご協力もあり実現する運びになりました。



一方、吉川小学校の校長先生に野鳥観察の提案をしたところ、校区にきているコウノトリを児童に観察させたいと良いお返事を頂きました。また、年間を通して野鳥の観察・記録・発表ができるように校庭の桜の木に巣箱を設置することになりました。

6月実施のオープンスクールでは、環境の時間として4年生を対象に「吉川地区の野鳥と農業」についての話をしました。私としては野鳥に興味のある10人くらいの小グループで活動するつもりでしたが、学校は4年生全員でやりたいとのことでした。



6月

オープンスクールで吉川小学校校下の環境について、野鳥を主とした話をしました。

7月

校庭の樹木に取り付ける巣箱の作成
巣箱の材料は福井県丹南農林事務所県産材活用課と相談して材料を提供していただきました。

10月

・児童93名で巣箱20個の作成（少人数のグループに分ける）

・巣箱の取付け

授業時間では全ての取付けが困難。

残りは野鳥の会福井県会員で取付け予定。



2月

野鳥観察

または日野川にてカモ類の観察（予定）

吉川小学校には希少野生生物再生に協力して頂きました。今後の観察に必要な備品として

1 望遠鏡、三脚	一式
2 双眼鏡	4台
3 探検バック	10個
4 記録ノート	10冊
5 巣箱材料	20個分 以上

の寄贈をしました。引き続き吉川地区で水張り田んぼ、ビオトープ、吉川に建てられたコウノトリ巣塔の観察、巣箱利用の観察などの継続をお願いしました。

これからは吉川地区の農家の皆様に、冬水田んぼ、通年水張り田んぼ、休耕田の水張りにご協力頂き、これらビオトープを利用した環境農作物の栽培を推進、さらに福井県・鯖江市に対して、これらのブランド農作物の販売を、道の駅や高速道路でできるように要望していくなど農家の皆様の手助けになるよう提案していきたいと思っています。